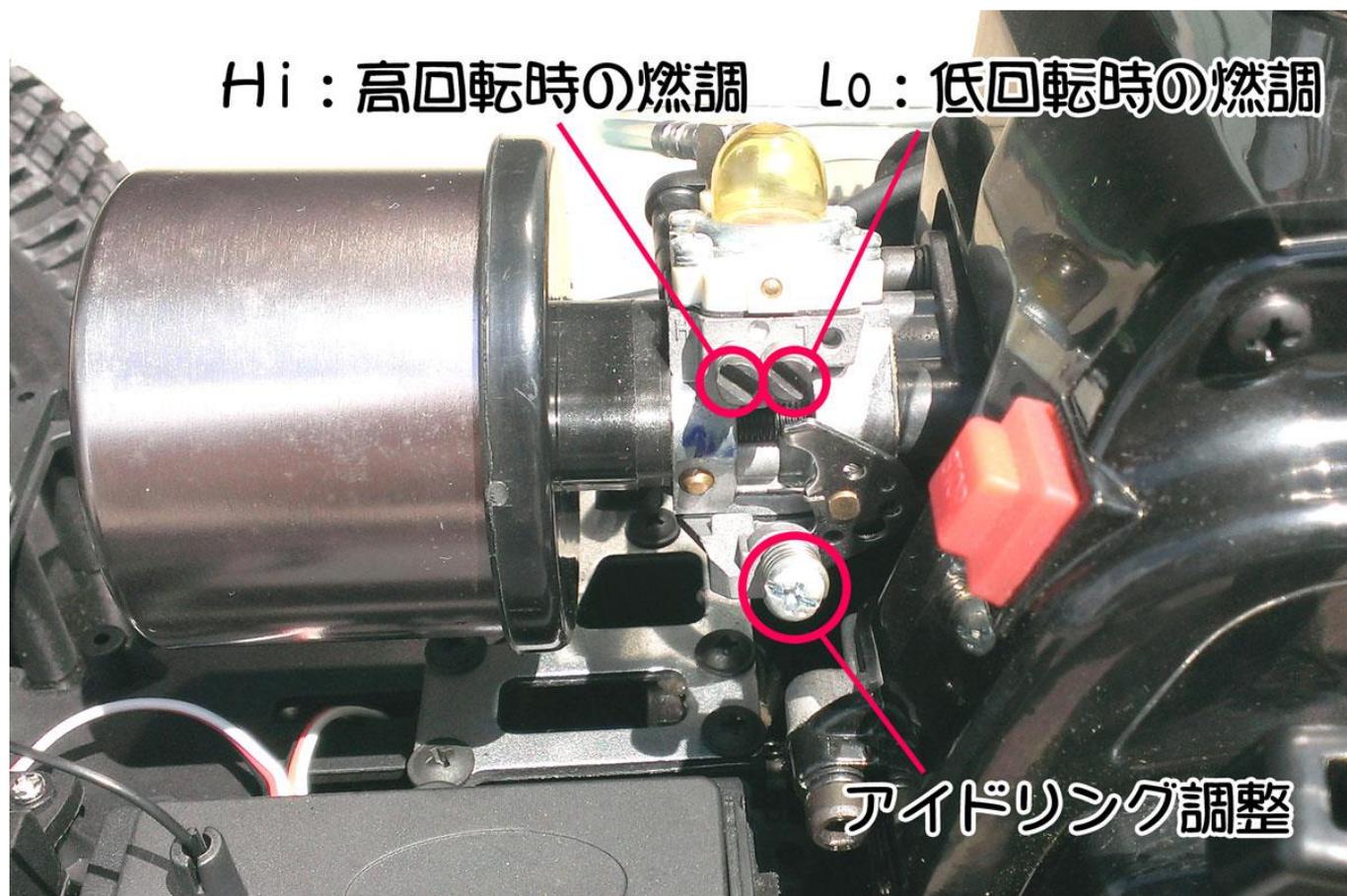


1. キャブセッティング調整箇所

キャブ調整に、どの車体でも当てはまる、標準的な位置というのは御座いません。エンジンのコンディションや気温、湿度などの環境等により大きく変わってきます。

また、ラジコンに詳しい人は、細かいセッティングをされると思いますが、ここでは初めての方にも出来るような、一般的なセッティング方法をご紹介します。

ニードル・ネジの調整時の変更角度は、基本 45 度 (1/8 回転) とし、試験走行を重ねながらベストコンディションを見つけて下さい。



●一般的なセッティング方法

※負荷がかからないと、エンジンの燃調が違ったものになるので、アイドリング以外は実際に走らせての調整となります。

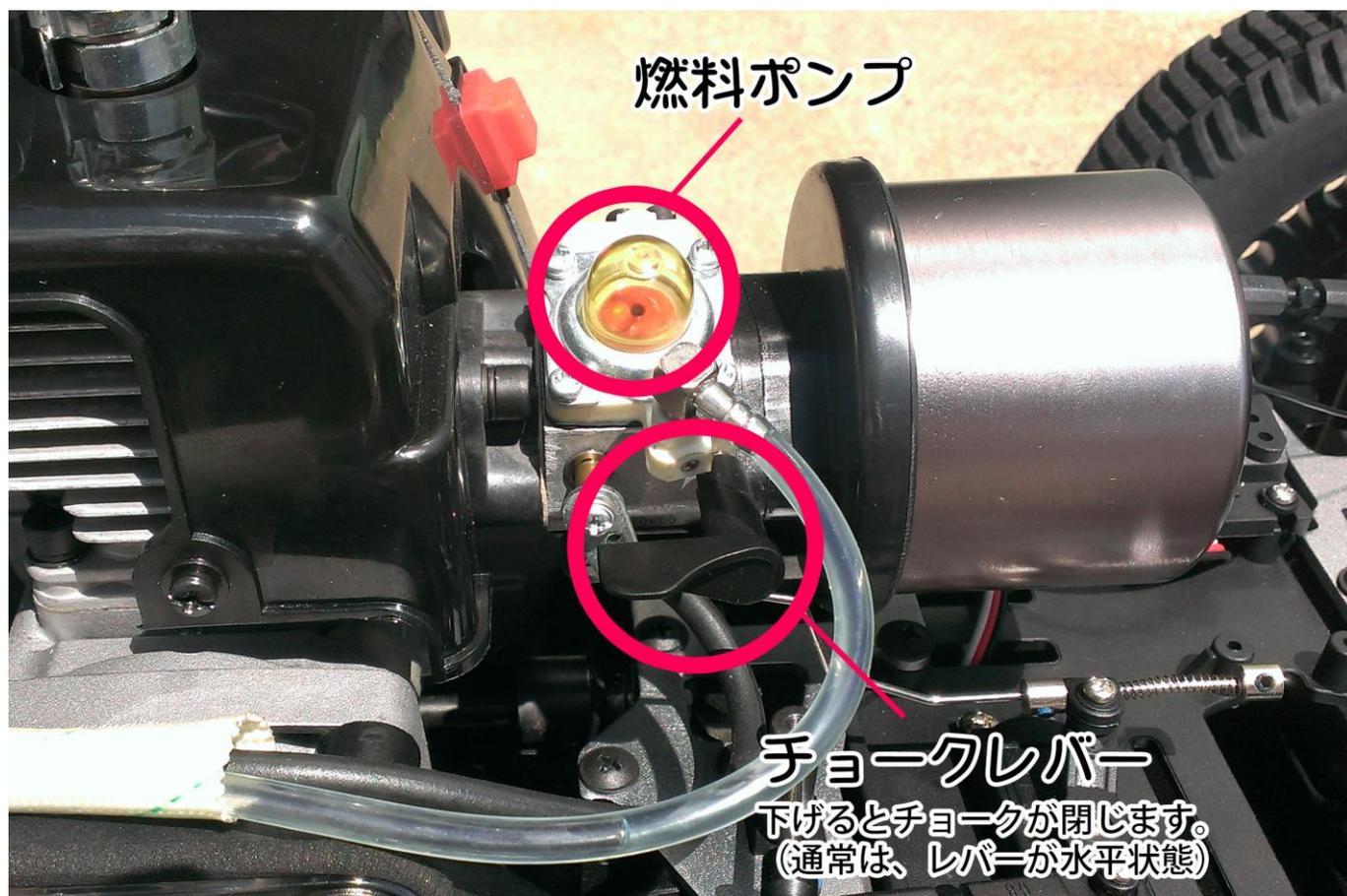
1. 出来るだけ直線コースの取れる場所で、フルスピードで走らせます。走行と調整を繰り返しながら、Hi : 高回転時の燃調ニードルを回して、最もスピードの出る位置を見つけます (見た目で判断します)。
2. Hi 側の燃調が済むと、Lo 側を回しながら、加速時に多少の排煙を吹きながら、加速する位置を見つけます。フルスロットルしたときに、排煙が真っ白だったり、エンジンが止まったりしないように調整をしていきます。

※あまりこだわり過ぎると、かえってニードル等を回し過ぎたりして、調子が悪くなったり、最悪エンジンの故障にもつながりますので、ご注意ください。初めて走行される方は、特に気にならなければ、とりあえず現状の調整のままで走らせてから、慣らしを終えて少しずつ調整をして下さい。

●アイドリング調整

エンジンの状態にもよるのですが、フルスロットル後回転が落ちて止まったり、逆に回転が高すぎてうるさすぎない程度で調整してみてください。

※フルスロットル後回転が落ちるのは、アイドリング調整で対応出来ない場合もあります。その場合は、5～10分程度アイドリングのまま放置すると、たいてい安定していきます。



●燃料ポンプ：初めてエンジンに燃料を入れて、燃料を循環させる時に、指で数回プッシュします。透明な復路側のチューブに燃料が回ってきて、気泡などがある程度消えれば、エンジンがかけられる状態になります。

●チョークレバー：下にレバーを倒すとチョークが閉じます。エンジンがかかりにくい場合、チョークを閉じてリコイルスターターでエンジンを回します。エンジンがかかりそうな音がしたら、レバーを水平状態に戻して、エンジンをかけ直します。